

経営比較分析表（令和6年度決算）

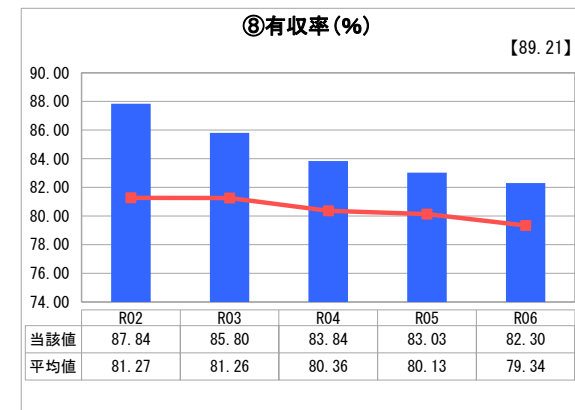
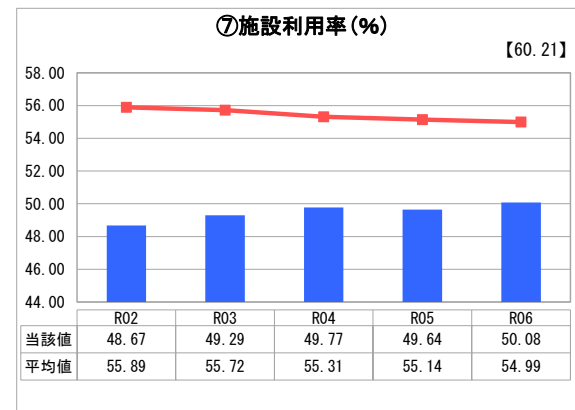
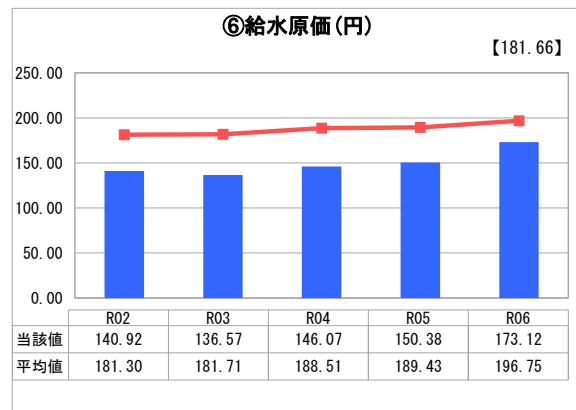
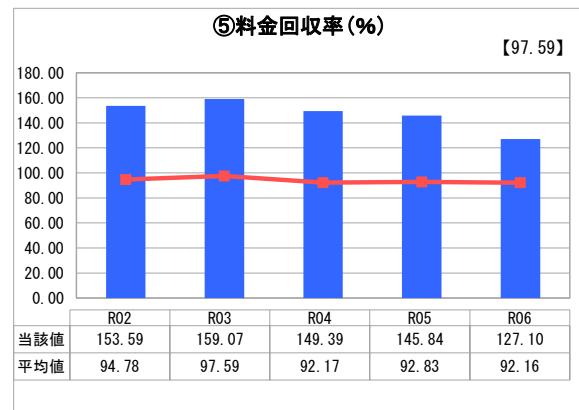
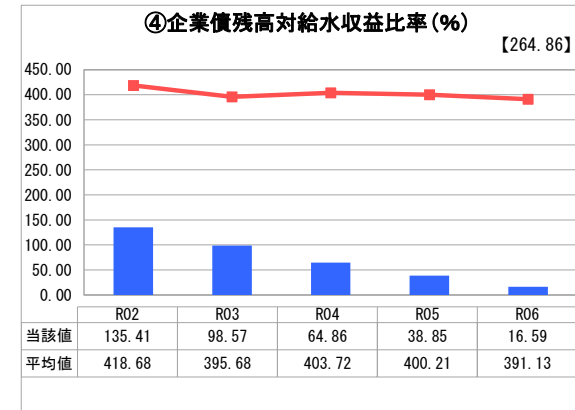
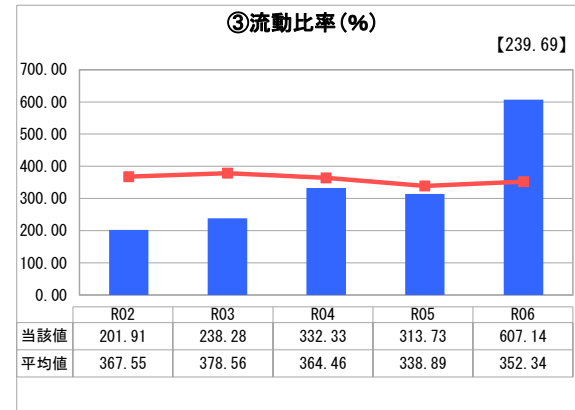
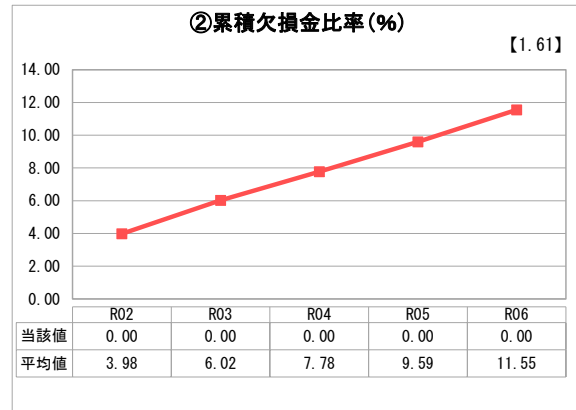
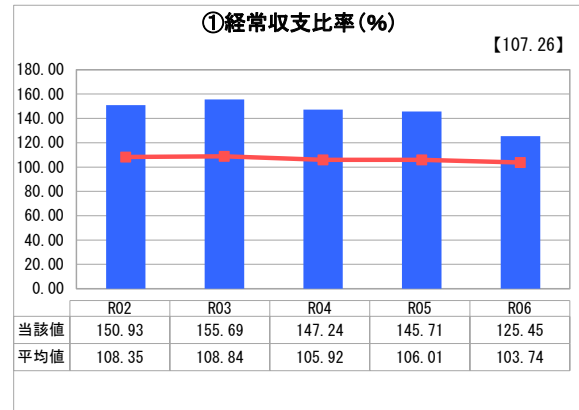
徳島県 石井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	95.67	90.90	4,185	

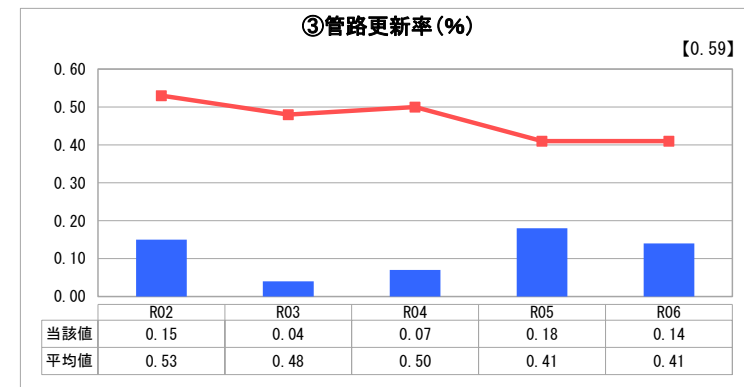
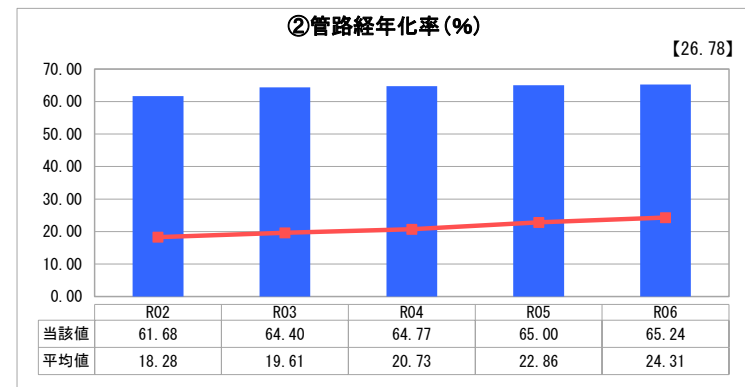
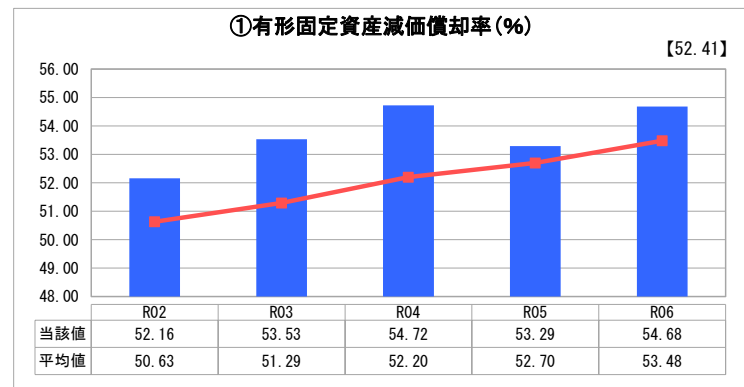
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,567	28.85	851.54
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
22,224	22.89	970.90

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
昨年度からは減少したものの100%以上を維持しており黒字である。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は生じていない。
- ③ 流動比率
短期的な債務に対する支払能力は100%以上を維持している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
企業債を新規発行せず返還を推し進め、管路更新・耐震化等の将来を見据えた投資が可能な状況にある。
- ⑤ 料金回収率
昨年度より減少したものの、100%以上を維持しており、給水収益で給水にかかる費用が賅えている。
- ⑥ 給水原価
有収水量1m³あたりの費用は、上昇傾向にあるものの平均値よりも低い値を維持している。
- ⑦ 施設利用率
全国・類似団体平均値を下回っているものの、一般家庭の給水が大半を占めており、人口は緩やかに減少しているが、逆に利用戸数は緩やかに増加しているため、上昇傾向にある。また急激な増減は推測できない状況である。
- ⑧ 有収率
類似団体平均値よりも高い数値を維持しているものの減少傾向にある。修繕による対応のみでは、有収率の維持が困難なため全体的な老朽管の更新を推し進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
右肩上がりで見られている。近年は全国・類似団体平均値を上回っており資産の老朽化が進んでいる。管路更新等の必要性が高い状態である。
- ② 管路経年化率
法定耐用年数を経過した創設時の管路がそのまま横ばい状態となって数値に現れている。管路更新等の必要性が高いまま継続している。
- ③ 管路更新率
料金改定(H27.10.1)時から財政の立直しを継続しており、配水管の維持修繕ならびに急を要する改良のみに着手しているため、更新率は低いままである。

全体総括

平成30年度に策定した経営戦略に基づき、経営の健全性を重視した結果、経常収支比率は100%以上を維持しており、また償還金の終了が見え、管路更新目的の基金積み立ても進んでいる。
また令和6年度には管路の耐震化計画を策定し、今後補助金等を活用しながら、将来を見据えた取り組みを加速させる。
併せて、当面の維持修繕として、配水管の漏水調査を隔年で実施するなどの状況把握と優先順位を考慮しながら予防保全を前提とした計画的な修繕・更新を行い管路の延命化・維持管理についても検討する必要がある。